



制定日 2003/03/15

改訂日 2020/07/7

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品および会社情報

製品名	クリントールアクア
製品の種類	粘着ゴムロール用クリーニング溶剤(クリーンダッシュロール専用)
会社名	テクノロール株式会社
所在地	〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-4-5
担当部門	技術本部 化学部門
電話番号	0725(53)3933
FAX 番号	0725(53)3922
E-Mail	tech@technoroll.co.jp
管理No.	No. MD-CTAq08

### 2. 危険有害性の要約

#### <GHS分類>

物理化学的性質	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分3
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分2
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1(中枢神経系、血液、腎臓、肝臓、全身毒性) 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1(血液系) 区分2(血液、呼吸器、脾臓)

\*記載のないものは「区分外」、「分類対象外」、又は「分類できない」

国/地域情報	なし
<GHSラベル要素>	絵表示



注意喚起語 危険

#### 危険有害性情報

- H226 : 引火性液体及び蒸気
- H302 : 飲み込むと有害
- H311 : 皮膚に接触すると有毒
- H330 : 吸入すると生命に危険
- H315 : 皮膚刺激
- H319 : 強い眼刺激
- H335 : 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 : 眠気又はめまいのおそれ(麻酔作用)
- H361 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- H370 : 臓器の障害(血液系, 呼吸器, 肝臓, 腎臓)

H372 : 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害 (血液系)

H373 : 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ (呼吸器、肝臓、脾臓)

#### <注意事項>

##### 安全対策

- P201 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P210 : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- P233 : 容器を密閉しておくこと。
- P240 : 容器を接地すること/アースをとること。
- P241 : 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- P242 : 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 : 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- P260 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P261 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P264 : 取扱い後は手をよく洗うこと。
- P270 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 : 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- P280 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P284 : 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

##### 応急措置

- P301+P312 : 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P302+P352 : 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
- P303+P361+P353 : 皮膚 (又は髪) に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- P304+P340 : 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305+P351+P338 : 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308+P311 : 暴露又は暴露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。
- P308+P313 : 暴露又は暴露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- P310 : 直ちに医師に連絡すること。
- P312 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P314 : 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- P320 : 特別な処置が緊急に必要である。
- P321 : 特別な処置が必要である。
- P330 : 口をすすぐこと。
- P332+P313 : 皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- P337+P313 : 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- P361 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
- P363 : 汚染された衣類を再使用する場合には選択すること。
- P362+P364 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P370+P378 : 火災の場合、消火するために適切な消火剤を使用すること。

##### 保管方法

- P403+P233 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P403+P235 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405 : 施錠して保管すること。

## 廃棄方法

P501：内容物／容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名/成分	化学式	CAS No.	含有量
・アルキレングリコールエーテル	—	—	10—30 %
・アルキルアルコール	—	—	20—40 %
・安定剤	—	—	1%未満
・水	H <sub>2</sub> O	7732-18-5	40—60 %

## 4. 応急措置

### 一般的な応急措置

気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪い時は医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

### 皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

火災の場合は、霧状水、泡、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

#### 特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。

火炎によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

#### 特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

#### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

回収、中和

乾燥土、砂や不燃材料で流出物を吸収し、あるいは覆って密閉できる化学品廃棄容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱および保管上の注意

取扱方法：

技術的対策

取扱い者の暴露防止

粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。

火災・爆発の防止

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースを取ること。

防爆型の電気機器・換気装置・照明機器・その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

局所排気、全体換気

排気・換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」参照

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管方法：

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

直射日光を避け、換気の良い冷暗所又は暗所で保管する。

施錠して保管すること。

安全な容器・包装材料

ポリエチレン、ガラス、セラミック、ステンレスなど。(基本的には製品の容器・包装材料にて保管する)  
鉄製の容器は腐食する為、使用してはならない。

## 8. 暴露防止措置

管理濃度 : 25ppm (アルキレングリコールエーテル、2014年)

200ppm(アルキルアルコール、2004年)

許容濃度 : 日本産業衛生学会(1987年版) ; 400 ppm (980 mg/m<sup>3</sup>、アルキルアルコール)

ACGIH(2014年版) TLV-TWA 20 ppm (アルキレングリコールエーテル)

ACGIH(2004年版) TLV-TWA 200 ppm (アルキルアルコール)

設備対策 : 取扱い電気設備は防爆型を使用し、液体の輸送、汲み取り、攪拌等の各装置は全てアース取りする。  
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。特にタンク内部等の密閉場所で作業をする場合は密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付ける。

取扱い場所の近くには高温、発火源となるものが置かれない設備とする。

屋内洗浄作業の場合は、自動洗浄機等を使用するなど作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられる設備とする。

保護具 : <呼吸用保護具> 有機ガス用防毒マスク、自給式空気呼吸器

<保護眼鏡> 側板付き安全眼鏡

<保護手袋> 耐溶剤性のゴム手袋(不浸透性)

<保護衣> 耐溶剤性の保護衣、保護長靴、保護前掛け

## 9. 物理的および化学的性質

形状 : 液体

色 : 無色透明

臭い : 芳香臭

沸点 : 88℃

蒸気圧 : データなし

比重 : 0.942(20℃)

溶解度(水) : 水に任意に溶解(無限大)

pH : 4.5~6.0

引火点 : 30.8℃

発火点 : データなし

爆発限界 : データなし

可燃性 : あり

発火性 : なし(自然発火性、水との反応性)

酸化性 : なし

自己反応性 : なし

爆発性 : 蒸気は空気より重く、低所に停滞して爆発性混合ガスを作り易い。

## 10. 安定性および反応性

安定性 : 通常の条件下では安定。

反応性 : 特記すべき反応性なし。

避けるべき条件 : 高温、強酸化剤、強アルカリとの接触回避。

混触危険物質 : 強酸化剤、強アルカリ。

危険有害な分解性生物 : 燃焼等により CO、NOx 等の有害ガスを発生する恐れがある。

## 1 1. 有害性情報

混合物の有害性情報なし。

## 1 2. 環境影響情報

混合物の環境影響情報なし。

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 内容物・容器は地方・国の規則に従って廃棄すること。  
環境への放出を避けること。

汚染容器及び包装 : 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

## 1 4. 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

国連分類 : クラス 3 (引火性液体)

注意事項 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのないことを確かめ、店頭、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法令

施行令別表第 1 第 4 号(危険物・引火性のもの)

法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9

通知対象物質 : エチレングリコールモノブチルエーテル(政令番号 79)、2-プロパノール(政令番号 494)

表示対象物質 : エチレングリコールモノブチルエーテル(政令番号 79)、2-プロパノール(政令番号 494)

有機溶剤中毒予防規則 : 第 2 種有機溶剤(エチレングリコールモノブチルエーテル、2-プロパノール)

消防法

第 4 類引火性液体 第二石油類 水溶性液体 数量 : 2000 L

毒物及び劇物取締法

非該当

化審法

優先評価化学物質 (エチレングリコールモノブチルエーテル、2-プロパノール)

化学物質管理促進法 (PRTR 法)

非該当

船舶安全法

危規則第 3 条危険等級 2 引火性液体類

毒物類 (エチレングリコールモノブチルエーテル)

航空法

施行規則第 194 条 引火性液体

海洋汚染防止法

非該当

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) (2-プロパノール)

## 16. その他情報

荷姿 : 18L金属(内面コート)角缶容器入り

注釈 : 本製品データは、一般的な情報および経験に基づき得られたものです。

本製品のもつ特性に関する品質保証を意味するものではありません。